

D-station 50 シリーズ 電話機の使いかた



技術基準適合認証品

このたびは、「D-station 50 シリーズ」をお買い上げいただき、ありがとうございます。

本書には本製品を安全に使用していただく為の重要な情報が記載されています。

本書は、実際に電話機を使っていたりの方を対象に書かれています。

本製品を使用する前に本書をよく読み、理解した上で、お使いください。

また、本書は本製品の使用中、いつでも参照できるように大切に保管してください。

富士通は、使用者および周囲の方に人身損害や経済的損害を与えないために細心の注意を払っています。

本書にしたがって本製品を使用してください。

FUJITSU

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途に使用される場合は、当社の担当営業までご相談ください。

注意

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者は適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

- この電話機システムは日本国内用に設計されています。電圧、電話交換方式の異なる海外ではご利用できません。

This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

- 本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通話、録音、通話料金管理、FAX 通信、データ通信、その他のサービスの利用ができなかったために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品の設置工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は違法となり、また事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本製品を分解したり改造したりすることは、絶対に行わないでください。
- 本書の内容につきまして万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社窓口等へお申しつけください。
- 製品の改良のため仕様やデザインの一部を予告なく変更することがありますのでご了承ください。

発行元の許可なく本書の記載内容を複写、転写することを禁止します。

All Rights Reserved, Copyright© 富士通株式会社 2010-2013

● 本書について

本書には、本製品を安全に使用していただくための重要な情報が記載されています。本製品を使用する前に、本書を熟読してください。特に本書に記載されている「安全上の注意事項」をよく読み、理解された上で本製品を使用してください。また、本書は大切に保管してください。

ここでは主な電話機の使いかたの一部をご説明しております。フリーアサインボタン数、ディスプレイ表示内容等は、機種により異なりますので詳しくは小容量 PBX/ 中大容量 PBX に添付されている取扱説明書をご覧ください。

※小容量 PBX : ES200 シリーズ ISS 全機種、CS100、CM50、IP Pathfinder RM10S GSM シリーズ、
IP Pathfinder S

※中大容量 PBX : LEGEND-V、IP Pathfinder 全機種 (IP Pathfinder S、RM10S GSM シリーズは除く)、
ES3900 シリーズ CCS 全機種

● 警告表示について

本書では、お客様の身体や財産に損害を与えないために、以下の警告表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



「△危険」とは、正しく使用しない場合、死亡する、または重傷を負うような切迫した危険があることを示しています。



「△警告」とは、正しく使用しない場合、死亡する、または重傷を負うことがあり得ることを示しています。



「△注意」とは、正しく使用しない場合、軽傷、または中程度の傷害を負うことがあり得ること、当該製品自身、またはその他の利用者などの財産に、損害が生じる危険性があることを示しています。

● 安全上の注意事項

電話機/ACアダプターについて以下の注意事項をお守りください。

尚、以下の使用条件を厳守しなかった場合、お客様および周囲の方の身体や財産等、また、環境破壊による第三者の身体や財産等に予期しない損害を生じる恐れがあります。



(1) 使用方法について

使用上の注意

- ・ 本電話機に使用する AC アダプターは、指定したものを使用してください。指定品以外のもを使用すると、発熱、破裂させる原因となります。

指定 AC アダプター

: FC164H12 (FC780BM ボタンモジュール用)



(1) 使用方法について

予想される誤った 使いかたの注意

- ・ 電話機にお茶やコーヒーなどが入ったり、また濡らさないように、ご注意ください。火災、感電、故障の原因となります。
- ・ 電話機の近くに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品等、水などの入った容器、または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電、故障の原因となります。
- ・ 電話機には、殺虫剤やヘアースプレー等がかからないようにしてください。火災、感電、故障の原因となります。
- ・ 電話機の開口部から、内部にクリップやホッチキスの針等の異物を差し込んだりしないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- ・ 電話機をぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。
- ・ 電子レンジや高圧容器に、AC アダプターや電話機本体を入れしないでください。AC アダプター、電話機本体の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

分解・改造の禁止

- ・ 電話機を分解、改造しないでください。また、中古品をオーバーホールなどによって再生して使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。

接続機器の注意

- ・ 接続コードには、本電話機以外の機器または、改造された機器をつながないでください。火災、感電、故障の原因となります。

配線ケーブル類の 注意

- ・ 接続コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- ・ 接続コードの上に重いものを乗せないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- ・ 接続コードを熱器具に近づけたり、燃えやすい物を置いたり、加熱させたりしないでください。コードの被覆が溶けて火災、感電、故障の原因となります。
- ・ 接続コードは折り曲げたり、引っ張ったりしないでください。コードが傷つき、火災、感電、故障の原因となります。

(2) 保守・点検について

点検（保守者）の 制限・禁止

- ・ 内部の点検、修理はお買い上げの販売店に依頼してください。ご自分で行うと、火災、感電、故障の原因となります。
- ・ 万一、煙が出る、変なおいがした場合には、電話機本体から電話機コード、AC アダプターをコンセントから抜いて、煙がでなくなるのを確認してお買い上げになった販売店等へご連絡ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



(1) 使用方法について

使用環境の注意

- ・ 電話機を直射日光の当たる所に置かないでください。内部の温度が上がり、火災、感電、故障の原因となることがあります。
- ・ 電話機を極度に温度の高い所、低い所、温度変化の大きい所に置かないでください。故障の原因となることがあります。
- ・ 電話機を浴室等の湿気の高い所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- ・ 電話機を調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気の当たるような場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- ・ 電話機をホコリの多い場所に設置しないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- ・ 電話機をジュウタンやカーペットのような静電気の発生しやすい物の上に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- ・ 電話機を硫黄ガスや車の排気ガス等、特殊ガスが当たる場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- ・ 電話機を海風が当たる場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

予想される誤った 使いかたの注意

- ・ 電話機の上に物を置いたり、周辺に倒れやすい物を置かないでください。けが、故障の原因となることがあります。
- ・ 電話機を壁掛けにして使うときは、落下にご注意ください。けがの原因となることがあります。
- ・ 電話機を振動、衝撃の多い場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- ・ 電話機を通路に置かないでください。けがの原因になることがあります。

(2) 保守・点検について

点検・清掃について

- ・ 電話機に水滴がついたら乾いた布で拭き取ってください。放置すると火災、感電、故障の原因となることがあります。
- ・ 電話機が汚れたら、柔らかい布で乾拭きしてください。ベンジン、シンナー等の有機溶剤は避けてください。電話機が腐食、溶解して火災、感電、故障の原因となることがあります。

(3) 製品の廃棄

製品廃棄時の注意

- ・ 法人、企業のお客様が本製品を廃棄・リサイクルされる場合は、「富士通事業系 IT 製品リサイクルサービス」をご利用ください。詳しくは、下記の Web サイトをご覧ください。
(<http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/products/recycle/recycleindex.html>)
- ・ 本製品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な製品です。製品内のデータ流出等の不測の損害等を回避するために、本製品を廃棄（または譲渡、返却）される際には、製品内に登録または保持されたデータを消去する必要があります。詳しくは、お買い上げになった販売店へお申し付けください。

本書では、D-station 50 シリーズでご利用になれる基本的な機能について説明しています。その他の機能や登録・設定については、お客様社内の通信機器管理担当部門、またはお買い上げいただいた販売店にご相談下さい。

■ 本書の構成

1章 お使いになる前に	お使いになる前に、知っておいていただきたいことをまとめています。
2章 電話をかける / 受ける	電話をかけたり、受けたりする基本的な機能について説明しています。
3章 便利な使いかた	ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤル等の、利用できる便利な機能について説明しています。
4章 電話帳機能を利用する	電話帳の使いかたについて説明しています。
5章 発着信履歴機能を利用する	発着信履歴機能の使いかたについて説明しています。
6章 その他の機能	その他の機能について、概略を記載しています。
7章 ご参考に	故障かな? と思ったときの確認方法などを説明しています。

■ 操作説明ページの構成

章タイトル

章ごとにタイトルが付けられています。

タイトル

目的ごとにタイトルが付けられています。

操作説明

順番に操作を説明しています。

3 便利な使いかた

短縮ダイヤルでかけるには

よく使う番号を短縮ダイヤルに登録しておくことで便利。短縮ダイヤルには、固定短縮ダイヤル（個人指定したグループ専用短縮ダイヤル）と固定短縮ダイヤル（この電話帳からでも利用できる、システム共通の短縮ダイヤル）の2種類があります。

短縮ダイヤルを登録する

■固定短縮ダイヤルを登録する
固定短縮ダイヤルは、電話帳ごとに登録できます。

■固定短縮ダイヤルでは、相手番号の先頭部分に登録し、後半を欠損のつどダイヤルすることが可能です。
例) 01-03-1234-5678

短縮ダイヤルで登録 ダイヤルします。

■お知らせ

- 同じ短縮番号へ新たな番号を登録すると、以前に登録した番号等は、新しい番号に置きかわります。
- ※1：短縮ダイヤルの登録可能数、短縮番号の使える範囲、短縮登録番号など詳しくは、下記Webサイトをご覧ください。
<http://femico.fujitsu.com/products/concept/contact/tips/index.html>

の、よくお買い合せのある操作「短縮ダイヤル登録手順」。

3 1 スピーカーボタンを押します。

内線ランプが緑で点灯します。
スピーカースピーク音が鳴ります。

2 ダイヤルボタンで、短縮登録特番（※1）、短縮番号（※1）、局線発信特番（例えば0）、登録する相手電話番号、の順に押します。

（小容量 PBX の場合）

3 短縮ボタンを押します。

「ブザー」のような確認音が聞こえます。

（中容量 PBX の場合）

3 確認音を待ちます。

「ブザー」のような確認音が聞こえます。

4 スピーカーボタンを押します。

内線ランプが緑で点灯します。
スピーカースピーク音が鳴ります。

ワンポイント

●専用番号を登録するには
手順2の操作で異種発信特番のかわりに専用種別特番（たとえば「0」）を押します。

●固定短縮ダイヤルでは、相手番号の先頭部分に登録し、後半を欠損のつどダイヤルすることが可能です。
例) 01-03-1234-5678

短縮ダイヤルで登録 ダイヤルします。

ワンポイント

●専用番号を登録するには
手順2の操作で異種発信特番のかわりに専用種別特番（たとえば「0」）を押します。

●固定短縮ダイヤルでは、相手番号の先頭部分に登録し、後半を欠損のつどダイヤルすることが可能です。
例) 01-03-1234-5678

短縮ダイヤルで登録 ダイヤルします。

お知らせ

- 同じ短縮番号へ新たな番号を登録すると、以前に登録した番号等は、新しい番号に置きかわります。
- ※1：短縮ダイヤルの登録可能数、短縮番号の使える範囲、短縮登録番号など詳しくは、下記Webサイトをご覧ください。
<http://femico.fujitsu.com/products/concept/contact/tips/index.html>

の、よくお買い合せのある操作「短縮ダイヤル登録手順」。

ワンポイント

知っておくと便利な事項、操作のアドバイス等の補足説明を示しています。

お知らせ

この表示は、製品を取り扱う上での注意事項を示しています。

目次

安全にお使いいただくために必ずお読みください	3
本書の見かた	7

1 お使いになる前に

特長	9
セットを確認してください	10
各部の名前	11
ディスプレイの表示について（小容量 PBX に接続した場合）	14
ディスプレイの表示について（中大容量 PBX に接続した場合）	15
ディスプレイの角度を変えるには	16
電話機の角度を変えるには	16
音色 / 音量 / ディスプレイのコントラストを調節する	17
呼出音の音色を切り替える	17
呼出音の音量を調節する	17
スピーカーの受話音量を調節する	17
ハンドセット使用時の音量を調節する	17
ディスプレイの明るさを調節する	17
カラーシートの使いかた	18
電話機の操作方法について	18
接続のしかた	19
特番・短縮番号について	20

2 電話をかける / 受ける

電話をかけるには（局線発信 / 内線発信）	21
局線発信	21
特番でかける	21
局線ボタンでかける	21
内線発信	22
内線でかける	22
専用線でかける	22
その他	22
ヘッドセットで相手にかける	22
もう一度同じ相手にかけるには（リダイヤル）	23
相手の電話機のスピーカーで呼び出すには（音声呼出）	24
電話を受けるには（着信）	25
自分の電話機で受ける	25
局線着信を受ける	25
他の電話機にかかってきた電話を受ける（ピックアップ）	25
ヘッドセットで電話を受ける	25
保留するには（内線保留 / 局線保留）	26
内線保留	26
局線保留	27
共通保留	27
自己保留	27
転送するには	28
遠くの席の人に転送する	28
他の内線に自動的に転送する（可変不在転送）	28

3 便利な使いかた

ワンタッチダイヤルでかけるには	30
ワンタッチダイヤルを登録する（小容量 PBX の場合）	30
ワンタッチダイヤルを登録する（中大容量 PBX の場合）	31
ワンタッチダイヤルでかける	32
短縮ダイヤルでかけるには	33
短縮ダイヤルを登録する	33
短縮ダイヤルでかける（小容量 PBX の場合）	34
短縮ダイヤルでかける（中大容量 PBX の場合）	34
別の内線を呼び出す（リセットシフトコール）	35
相手の通話が終了したら呼び返すには（内線待ち合わせ）	36
3人で通話するには（三者通話）	37
内線通話に割り込むには（割り込み）	38

4 電話帳機能を利用する

電話帳に登録するには	39
電話帳でかけるには	41
電話帳を修正するには	44
電話帳を削除するには	45
文字を入力するには	46
電話帳で使用する各ボタンの割り当て文字	46
名前を登録する	47

5 発着信履歴機能を利用する

発着信履歴機能について	48
小容量 PBX での発信履歴操作について	49
小容量 PBX での着信履歴操作について	50
中大容量 PBX で発信履歴を検索するには	52
中大容量 PBX で発信履歴を利用して発信するには	53
中大容量 PBX で発信履歴を削除するには	54
中大容量 PBX で着信履歴を検索するには	55
中大容量 PBX で着信履歴を使用して発信するには	56
中大容量 PBX で着信履歴を削除するには	57

6 その他の機能

フリーアサインボタンについて	58
呼出音の音色を切り替えるとき	59

7 ご参考に

故障かな？と思ったら	60
仕様	62
アフターサービスについて	63

特長

D-station 50 シリーズは、次のような機能をお使いいただけます。本書では主に基本的な使いかたについて説明しています。その他の機能の概略については、6 章をご覧ください。(→P58)

●各ボタンに多彩な電話機能を割り当てられる

23/24 個※ (中大容量 PBX: 23 個、小容量 PBX: 24 個) の可変機能キーに局線ボタンのほか、ワンタッチボタンなどの多彩な電話機能を割り当てて使用できます。(→P58) それぞれのオフィス環境に合わせた設定が可能です。
※ 51A、51B は 12 個です。

●ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルで簡単にかけられる

簡単な操作で電話がかけられる。ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルを登録しておくことで、キー操作が少なくなって便利です。
(→P30、P31、P32)

●電話帳機能で検索して電話がかけられる

よくかける相手先を 50 件まで登録できます。電話帳に登録した名前から電話をかけられます。
(→P39)

●わかりやすい液晶ディスプレイ表示

現在の時刻や通話時間などを液晶ディスプレイ※にわかりやすく表示します。(→P14、P15)
また、ディスプレイを見やすくするためにディスプレイ表示部を立てて使うこともできます。(→P16)
※ 51A はディスプレイ表示がありません。

●発着信履歴機能を利用して電話がかけられる

発着信履歴表示が、小容量 PBX は発信履歴: 8 件、着信履歴: 8 件使用でき、中大容量 PBX は発信履歴: 10 件、着信履歴: 10 件使用できます。
また、発着信履歴を使用して電話をかけることが出来ます。

1 お使いになる前に

セットを確認してください

■本体



D-station 50 シリーズ

■添付品



保証書 (1部)



電話機コード (1本)



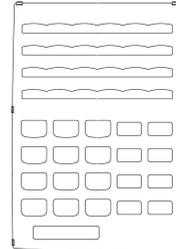
安全にお使いいただくために
(1部)



小容量 PBX 用
カラーシート (1枚)



中大容量 PBX 用
カラーシート (1枚)



透明パネル (1枚)

- 上記添付品以外にモジュラーローゼット (52PBには専用の終端抵抗付きモジュラーローゼット) が1個付いています。
- セットに足りないものがあったり、本書に誤字・脱字があった場合などは、お買い上げになった販売店へご連絡ください。

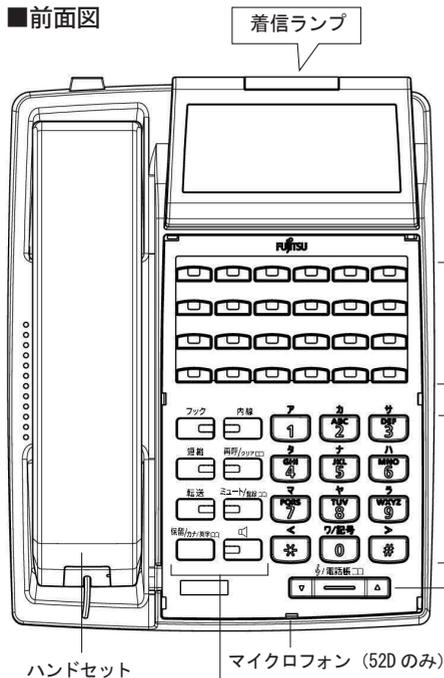
■環境条件

	温度 (°C)	湿度 (% RH)
動作時	0 ~ + 40	20 ~ 80 (結露なきこと)
保存時	- 20 ~ + 60	5 ~ 90 (結露なきこと)

各部の名前

<小容量 PBX 用電話機の外觀図および各ボタンの説明>

■前面図



フリーアサインボタン

ワンタッチ、ピックアップ、不在転送、会議などの機能ボタンとして使えます。

ダイヤルボタン



呼出音が鳴っているときに押すと、呼出音の音色を切り替えることができます。



電話帳の操作ができます。



■操作をしていない状態で、ディスプレイ表示の輝度を調節できます。

■通話中に、相手の声の大きさを調節できます。

■□(スピーカーボタン)を押したときに、スピーカーからの音量を調節できます。

■呼出音が鳴っているときに呼出音の音量を調節できます。

■電話帳の検索ができます。

固定機能ボタン

フック 続けて電話をかけるときや、番号を押した間違えたときに、受話器を戻さずに電話を切ることができます。

内線 外線と通話中に、内線へかけることや、内線からの着信に応答することができます。

短縮 短縮番号で電話をかけることや、短縮番号を登録することができます。

再呼 最後にかけた相手(内線・外線・専用線)を呼び出すことができます。なお再呼ボタンが点灯中は、セーブナンバードायタル(→P.23)で登録した相手を呼び出します。

クリア 電話帳のデータをクリアするときに使用します。

転送 通話中の相手を転送するとき、このボタンの後に転送先の内線番号を押します。

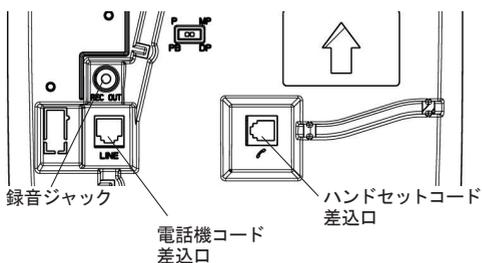
ミュート こちらの声を相手に聞こえないようにします。

登録 電話帳の入力データを設定するときに使用します。

保留 通話中の相手を保留することができます。

カ/英 文字入力モードを切り替えます。受話器を上げずに番号を押すことができます。また、相手がでたら受話器を上げずにそのまま会話することができます。(ハンズフリー機能: 52Dのみ)

■底面図



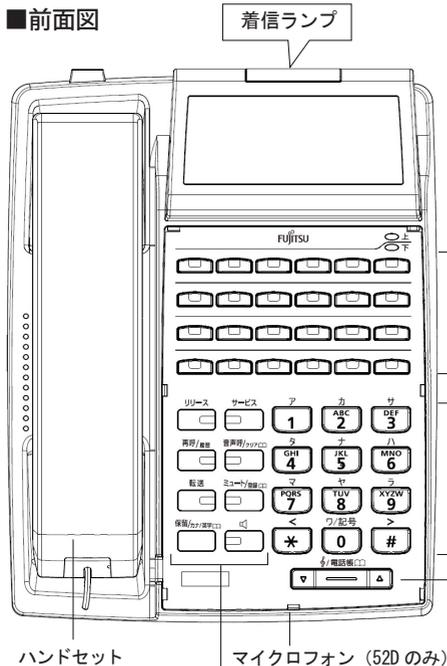
※小容量 PBX: ES200 シリーズ ISS 全機種、CS100、CM50、IP Pathfinder RM10S GSM シリーズ、IP Pathfinder S

(注) FAX 機能付電話機と通話中に近くで他の多機能電話機に呼出音が鳴ったとき、音色によっては、FAX 検出信号と認識し通話中に FAX へ切り替わる場合があります。(初期値の音色では問題ございません。)

各部の名前

<中大容量 PBX 用電話機の外観図および各ボタンの説明>

■前面図



フリーアサインボタン

ワンタッチ、ピックアップ、不在転送、会議などの機能ボタンとして使えます。

ダイヤルボタン



電話帳

呼出音が鳴っているときに押すと、呼出音の音色を切り替えることができます。

電話帳の操作ができます。

■操作をしていない状態で、ディスプレイ表示の輝度を調節できます。

■通話中に、相手の声の大きさを調節できます。

■**[]** (スピーカーボタン) を押したときに、スピーカーからの音量を調節できます。

■呼出音が鳴っているときに呼出音の音量を調節できます。

■電話帳の検索ができます。



固定機能ボタン

リリース 受話器を置かずして電話を切り、続けて次の相手にダイヤルすることができます。

サービス ワンタッチダイヤルなどを登録するときに使います。

再呼 最後にかけた相手 (内線・外線・専用線) を呼び出すことができます。

履歴 発着信履歴を表示させます。

音声呼 音声で相手を呼び出すことができます。(相手の電話機は同一構内の専用電話機に限定)

クリア 電話帳のデータをクリアするときに使います。

転送 通話中の相手を転送するとき、このボタンの後に転送先の内線番号を押します。

ミュート こちらの声を相手に聞こえないようにします。

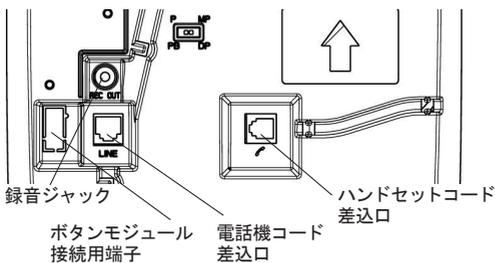
登録 電話帳の入力データを設定するときに使います。

保留 通話中の相手を保留することができます。

カ/英 文字入力モードを切り替えます。

[] 受話器を上げずに番号を押すことができます。また、相手がでたら受話器を上げずにそのまま会話することができます。(ハンズフリー機能: 52Dのみ)

■底面図



・ボタンモジュール接続用端子がカバーで塞いである場合は、取り除いてご使用ください。

※中大容量 PBX : LEGEND-V、IP Pathfinder 全機種 (IP Pathfinder S、RM10S GSM シリーズは除く)、ES3900 シリーズ CCS 全機種

注) FAX 機能付電話機と通話中に近くで他の多機能電話機に呼出音が鳴ったとき、音色によっては、FAX 検出信号と認識し通話中に FAX へ切り替わる場合があります。(初期値の音色では問題ございません。)

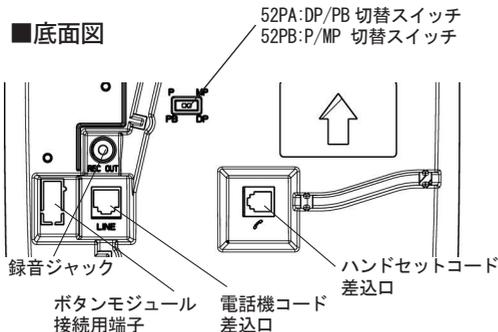
各部の名前

<D-station 52PA/52PB の外観図および各ボタンの説明>

■前面図

<小容量 PBX 用電話機の外観図および各ボタンの説明> 及び <中大容量 PBX 用電話機の外観図および各ボタンの説明> をご覧ください。

■底面図



D-station 52PA

DP/PB 切替スイッチ 停電用アナログ回線のご契約時の内容により、局線のダイヤル種別 (DP20pps、PB) を下記のスイッチで設定します。(初期値: DP)

- ◆ DP: 停電時の送出信号が 20pps
- ◆ PB: 停電時の送出信号が PB

D-station 52PB

P/MP 切替スイッチ 停電用 INS 回線のご契約時の内容により、インタフェース形態およびレイヤ 1 起動種別 (P-P または P-MP 常時 / 呼毎) をスイッチで設定します。(初期値: MP)

- ◆ MP: Point to Multi Point 常時 / 呼毎の場合
- ◆ P: Point to Point の場合

D-station 52PA/52PB の停電動作について

■ D-station 52PA/52PB 共通

・ 停電時は、“電話をかける (局線発信)”・“電話を受ける (局線応答)” 以外の機能 (ディスプレイ表示、各種ランプ、内線通話、高音ベルなど) は使用できません。

・ 通話中の、通電から停電、停電から復電への動作について

【通電から停電の場合】

通電時の通話中に停電となった場合、その通話は切断され、数秒後にアナログ / INS 回線側の発信音が聞こえます。ディスプレイ画面表示は消えます。

【停電から復電の場合】

停電時にアナログ / INS 電話機として通話中に復電となった場合、その通話は切断されます。復電の際、ディスプレイ上にカレンダーが表示されている場合は、内線の発信音が聞こえます。

・ 停電時のアナログ / INS 回線に対する、ボイスワープ等の付加サービスは使用できません。

■ D-station 52PB

・ P/MP 切替スイッチは、停電時にご使用する INS 回線のご契約時のインタフェース形態およびレイヤ 1 起動種別に合わせて、次のように設定します。

- ◆ MP: Point to Multi Point 常時 / 呼毎の場合 (初期値)
- ◆ P: Point to Point の場合

本スイッチは、通電時に電話機を起動する際に設定が有効となります。本スイッチを変更した場合、電話機コードを一旦抜いて、再度接続して下さい。

・ DSU から (PBX 経由の) D-station 52PB までの配線長は 300m (0.5 φ 構内ケーブル) になります。INS1 回線に対して 1 台の D-station 52PB のみを接続可能です。

ディスプレイの角度を変えるには

ディスプレイの表示内容が見えにくい場合は、ディスプレイ表示部を立ててご使用になると見やすくなります。



お知らせ

- D-station 51A にディスプレイはありません。

■ディスプレイ表示部を立てて使用する

- 1 ディスプレイ表示部を持ちます。
- 2 ディスプレイ表示部の上部を手前へ引くように動かします。



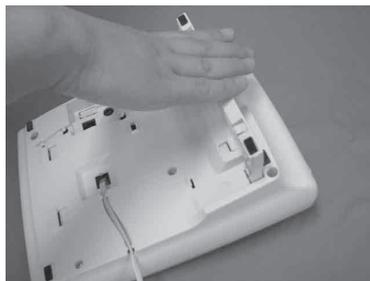
⚠ 注意 指や爪などをけがしないようご注意ください。

電話機の角度を変えるには

チルト足を立てることで、電話機の角度を変えてご使用になることができます。

■チルト足を立てて使用する

- 1 チルト足を持ち上げます。
- 2 チルト足を電話機側へ押し込みます（カチッと音が聞こえ、固定されます）。



⚠ 注意 指や爪などをけがしないようご注意ください。

音色 / 音量 / ディスプレイのコントラストを調節する

トーンボタン（♫）や調整ボタン（▲▼）を使用することにより、着信音の音色、音量やディスプレイのコントラストを調節することができます。

呼出音の音色を切り替える

音色は、小容量 PBX が 6 種類、中大容量 PBX は 8 種類選べます。
呼出音が鳴っているときに操作します。

1 トーンボタンを押します。

トーンボタン（ボタンの中央）を押すごとに音色が切り替わります。



ハンドセット使用時の音量を調節する

受話音量は小容量 PBX が 7 段階、中大容量 PBX が 9 段階調節できます。

1 調整ボタンの▲▼を押して音量を調節します。

調整ボタンを押すごとに音量が変わります。
音量を上げるときは▲を押します。
音量を下げるときは▼を押します。
小容量 PBX では、通話を終えると、受話音量が毎回初期値に戻ります。
中大容量 PBX では、通話を終了しても、受話音量は変更した後の音量を保持します。

呼出音の音量を調節する

音量は小容量 PBX が 3 段階、中大容量 PBX が 4 段階調節できます。
呼出音が鳴っているときに操作します。

1 調整ボタンの▲▼を押して音量を調節します。

調整ボタンを押すごとに音量が変わります。
音量を上げるときは▲を押します。
音量を下げるときは▼を押します。



ディスプレイのコントラストを調節する

ディスプレイのコントラスト（明るさ）は 8 段階調節できます。通話していない時、呼出音が鳴っていない時、スピーカ受話にしていない時に操作します。

1 調整ボタンの▲▼を押してコントラストを調節します。

調整ボタンを押すごとにディスプレイのコントラストが変わります。
コントラストを濃くするときは▲ボタンを押します。
薄くするときは▼ボタンを押します。

スピーカ受話時の音量を調節する

受話音量は、小容量 PBX が 11 段階（52D は 8 段階）、中大容量 PBX が 8 段階調節できます。
スピーカ受話中に操作します。

1 調整ボタンの▲▼を押して音量を調節します。

調整ボタンを押すごとに音量が変わります。
音量を上げるときは▲を押します。
音量を下げるときは▼を押します。

お知らせ

- 次に操作するまで、何回着信があっても同じ音色 / 呼出音量 / コントラストで着信します。
- 着信音量 / 受話音量 / ディスプレイのコントラストが「最大」または「最小」になると、それ以上調整ボタンを押しても音量 / コントラストは変わりません。

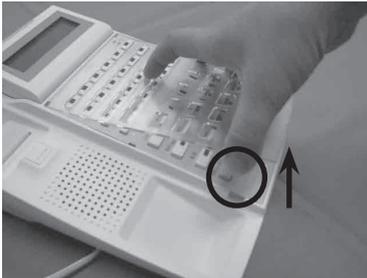
カラーシートの使いかた

透明パネルの下にカラーシートが入っています。

カラーシートには、フリーサインボタンに設定した内容（ワンタッチダイヤルの宛先など）を記入してご使用になれますと便利です。

■透明パネルを外す

電話機の手前側（○で囲んでいる部分）を矢印方向に透明パネルを上げると簡単に取り外すことができます。



■透明パネルを付ける

最初に、電話機の奥側（○で囲んでいる部分）に爪2ヶ所を溝に差し込み、透明パネルを電話機に取り付けます。



⚠ 注意 指や爪などをけがさないようご注意ください。

電話機の操作方法について

D-station 50 シリーズは小容量 PBX、中大容量 PBX で操作方法やランプ表示が異なる場合がございます。操作方法やランプ表示が異なる場合は、（小容量 PBX の場合）や（中大容量 PBX の場合）等というように記載しておりますので、本書をよくお読みになり、操作方法をお間違えにならないようご注意ください。

尚、特に（小容量 PBX の場合）や（中大容量 PBX の場合）等と記載されていない場合は、小容量 PBX、中大容量 PBX 共に共通の操作になります。

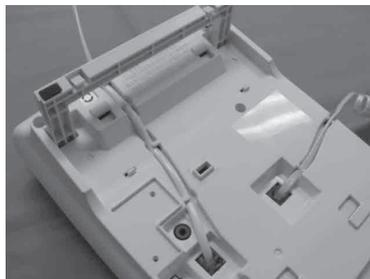
接続のしかた

電話機コードを接続します。録音ジャックをご使用の場合は、電話機コードを接続する際に録音ジャックを避けて、コード押さえに通してください。

- 1 電話機コードを電話機コード差込口に接続します。



- 2 コード押さえに電話機コードを通します。



特番・短縮番号について

本書に記載した各種「特番」、「短縮番号」は一例を示しています。ご使用になるときは、管理者（※1）から通知された番号をご使用ください。通知がない場合は、管理者（※1）にご確認下さい。短縮ダイヤルの登録可能数、短縮番号の使える範囲、短縮登録特番など詳しくは、下記 Web サイトをご覧ください。

<http://fenics.fujitsu.com/products/concept/contact/tips/index.html>

の、よくお問い合せのある操作「短縮ダイヤル登録手順」。

下記に代表的な特番、短縮番号について説明します。

■特番

名称	管理者 (※1) 登録	お客様登録	内 容
局線発信特番	○		局線にかけるとき、この番号を押すと局線に接続できます。 例：03-1234-5678にかけるとき 0-03-1234-5678 丌——局線発信特番
専用線発信特番	○		専用線にかけるとき、この番号を押します。 例：専用線番号71の事業所にかけるとき 71-1234 ↑ 内線番号 ——専用線発信特番

■短縮番号

名称	管理者 (※1) 登録	お客様登録	内 容
固定短縮	短縮番号	○	短い番号を押すだけで、よくかける相手を簡単に呼び出すことができます。全員で共通に使える番号で、管理者（※1）が番号登録を行います。個人で勝手に変更はできません。
	発信特番	○	固定短縮ダイヤルを使ってかけるときに、短縮番号の前にダイヤルする番号です。 例：固定短縮番号23に登録された相手にかけるとき 6-23 丌——発信特番
可変短縮	短縮番号	○	短い番号を押すだけで、よくかける相手を簡単に呼び出すことができます。管理者（※1）が設定した範囲（例えば00~19）内で、電話機ごとに登録することができます。
	登録特番	○	可変短縮番号を登録するときに、登録する短縮番号の前にダイヤルする番号です。 例：03-1234-5678を短縮番号13に登録するとき 17-13-0-03-1234-5678 丌——登録特番
	発信特番	○	可変短縮番号を使ってかけるときに、短縮番号の前にダイヤルする番号です。 例：可変短縮番号13に登録された相手にかけるとき 5-13 丌——発信特番

※1: お客様社内の通信機器管理担当部門、またはお買い上げいただいた販売店

電話をかけるには (局線発信 / 内線発信)

局線発信

特番でかける

1 ハンドセットを上げます。

「ツー」 という発信音を確認してください。

2 ダイヤルボタンで局線発信特番 (たとえば 0) を押します。

「ツー」 という発信音が聞こえます。



3 ダイヤルボタンで相手の番号を押 します。

「トゥルルル」 という呼出音が聞こえます。

4 相手の方が出たらお話しします。

局線 ボタンでかける

フリーアサインボタンに局線ボタンが割り付けられているときは、下記の操作で電話をかけます。

1 局線 ボタンを押します。

スピーカーからの「ツー」 という発信音を確認してください。



2 ダイヤルボタンで電話番号を押 します。

「トゥルルル」 という呼出音が聞こえます。

3 ハンドセットを上げます。

4 相手の方が出たらお話しします。

ワンポイント

- スピーカーボタンでかける
スピーカーボタンを押してダイヤルします。
呼出音が聞こえたらハンドセットを上げます。
- ハンズフリーでかける (52D のみ)
スピーカーボタンを押してダイヤルします。
相手の方が出たらスピーカーとマイクでお話しします。

お知らせ

- 発信音や話中音などは、PBX の機種や設定内容によつて本書記載の音色とは異なる場合があります。

相手の電話機のスピーカーで呼び出すには (音声呼出)

相手の名前をスピーカーから呼び出すことができます。

1 ハンドセットを上げます。

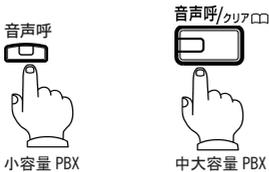
「ツーツ」 という発信音を確認してください。

2 ダイヤルボタンで内線番号を押します。

「トゥルルル」 という呼出音が聞こえます。

3 音声呼ボタンを押します。

「ブブブ」 という予告音が聞こえます。



4 相手の方の名前を呼びます。

相手の方の電話機スピーカーから呼び出す声が流れます。
呼び出された方がハンドセットを上げて応答したら、用件を伝えます。

<呼び出された方>

■スピーカーから呼び出す声が聞こえているときに

1 ハンドセットを上げてお話しします。

ワンポイント

- 相手の電話機がハンズフリー機能付きの場合、呼び出された相手は
 - ・中大容量 PBX の場合、スピーカボタンを押して電話機に向かって話すだけで応答できます。
 - ・小容量 PBX の場合、電話機に触れずに、電話機に向かって話すだけで応答できます。(52D のみ)

お知らせ

- 呼び出した相手が応答する前に、音声呼ボタンを押したときは、通常の呼出音に戻ります。
- 小容量 PBX の場合、音声呼ボタンはフリーアサインボタンへの登録が必要です。登録は、お客様社内の通信機器管理担当部門、またはお買い上げいただいた販売店にご相談下さい。

保留するには (内線保留 / 局線保留)

相手の方とお話中に、調べものなどで通話を一時保留することができます。保留中は相手の方には保留メロディーが流れます。

内線保留

1 通話中に保留ボタンを押します。

[内線]ランプが緑で遅く点滅します。



2 ハンドセットを置きます。

3 通話に戻るときはハンドセットを上げ、[内線]ボタンを押します。

[内線]ランプが緑で点灯します。



2 電話をかける / 受ける

4 スピーカーボタンを押します。

[内線]ランプ、スピーカーランプが消灯します。
不在転送される内線番号が登録され、以降の着信は登録先へ転送されます。

お知らせ

- 登録後の自分の電話機への着信は、転送先の電話機に着信します。
- 可変不在転送登録中の電話機からも発信できます。

■不在転送を解除する

自分の席へ戻ったら、忘れずに登録を解除しておきます。

1 スピーカーボタンを押します。

「ツツツツツ」という発信音を確認してください。



2 不在転送ボタンを押します。

「ブブブブ」いう確認音が聞こえます。
不在転送ランプが消灯します。



3 スピーカーボタンを押します。

不在転送が解除されます。

ワンタッチダイヤルでかけるには

よくかける電話番号をワンタッチダイヤルに登録しておく便利です。

局線の電話番号や特番、内線番号、短縮番号を登録できます。

ワンタッチダイヤルには次の3種類があります。

ワンタッチダイヤルの種類	内 容
フリーワンタッチ発信	よく利用する特番および局線、専用線の相手先番号をボタンに登録して、ワンタッチで電話をかけるとき
内線ワンタッチ発信	内線番号をワンタッチボタンに登録して、ワンタッチで電話をかけるとき
短縮ワンタッチ発信	登録してある短縮番号をワンタッチボタンに登録して、ワンタッチで電話をかけるとき

ワンタッチダイヤルを登録する (小容量 PBX の場合)

フリーワンタッチ発信・内線ワンタッチ発信・短縮ワンタッチ発信に共通の操作です。

1 スピーカーボタンを押します。

内線ランプが緑で点灯し、スピーカーランプが赤で点灯します。

「ツーツー」という発信音を確認してください。



2 ダイヤルボタンでワンタッチ登録特番 (たとえば 1 8 0 1) を押します。



内線ワンタッチや短縮ワンタッチに登録する場合は特番1801、フリーワンタッチに登録する場合は特番1807を押します。

3 登録するワンタッチボタンを押します。

フリーサインボタンでワンタッチ登録に割り当てられている中から、登録するワンタッチボタンを選択します。詳しくは、お客様社内の通信機器管理担当部門、またはお買い上げいただいた販売店にご相談下さい。ワンタッチランプが赤で点灯します。

(例)



4 ダイヤルボタンで登録する番号を押します。

- ・フリーワンタッチ発信の場合は、局線発信特番 (または専用線発信特番) 一相手番号を押します。
- ・内線ワンタッチ発信の場合は、内線番号を押します。
- ・短縮ワンタッチ発信の場合は、短縮発信特番一短縮番号を押します。

5 確認音を待ちます。

「ブブブ」という確認音が聞こえます。

6 スピーカーボタンを押します。

ワンタッチランプが消灯します。
スピーカーランプが消灯します。

お知らせ

- フリーワンタッチボタンと内線ワンタッチボタンと短縮ワンタッチボタンは、フリーサインボタンへの登録が必要です。登録は、お客様社内の通信機器管理担当部門、またはお買い上げいただいた販売店にご相談下さい。

3 便利な使いかた

ワンタッチダイヤルでかける

フリーワンタッチ発信・内線ワンタッチ発信・短縮ワンタッチ発信に共通の操作です。

- 1 **上下選択**ボタンで上段、下段を選択します。

上下選択ボタンがない機種、及び小容量 PBX の場合は手順 1 を省略して手順 2 へ進みます。



- 2 **ワンタッチ**ボタンを押します。

スピーカーからの「トゥルルル」という呼出音を確認してください。

内線ランプが緑で点灯します。
スピーカーランプが赤で点灯します。

(例)



- 3 **ハンドセットを上げます。**

スピーカーランプが消灯します。

- 4 **相手の方が出たらお話しします。**

短縮ダイヤルでかける

■可変短縮ダイヤルで電話をかける

1 ハンドセットを上げます。

「ツーツー」という発信音を確認してください。

2 ダイヤルボタンで可変短縮発信特番（たとえば ）—短縮番号（たとえば ）を押します。

「トゥルルル」という呼出音が聞こえます。

3 相手の方が出たらお話しします。

■固定短縮ダイヤルで電話をかける

1 ハンドセットを上げます。

「ツーツー」という発信音を確認してください。

2 ダイヤルボタンで固定短縮発信特番（たとえば ）—短縮番号（たとえば ）を押します。

「トゥルルル」という呼出音が聞こえます。

3 相手の方が出たらお話しします。

3 便利な使いかた

別の内線を呼び出す (リセットシフトコール)

相手がお話し中の場合に、内線番号の下1桁を押し直すだけで別の内線を呼び出せます。

相手の内線がお話し中だった場合、リセットシフトコールは続けて何度でも利用できます。

1 ハンドセットを上げます。

「ツーツー」という発信音を確認してください。

2 ダイヤルボタンで相手の内線番号を押します。

(例：内線 2001 にかけます。)
相手がお話し中のときは、「ツーツーツー」という話中音が聞こえてきます。



3 内線番号の下1桁を換えてダイヤルボタンを押します。

(例：内線 2002 にかけ直すときは、**2** を押します。)
「トゥルルル」という呼出音が聞こえます。

4 相手の方が出たらお話しします。

内線通話に割り込むには (割り込み)

内線同士がお話しているときに急用の場合などは、通話に割り込むことができます。

1 ハンドセットを上げます。

2 ダイヤルボタンで相手の内線番号を押します。

「ツーツーツー」という話中音が聞こえます。

3 話中呼ボタンを押します。

通話している内線に割り込みます。
「ブブブブ」という確認音が聞こえます。

(小容量 PBX の場合)

話中呼ランプが赤で点灯します。

(中大容量 PBX の場合)

話中呼ランプが赤で点滅します。

話中呼



4 相手の方とお話します。

3人でお話します。

お知らせ

- 割り込む相手は内線です。内線-内線、内線-局線、内線-専用線の通話のときに割り込みが可能です。
- 三者通話中の相手へ割り込むことはできません。
- 割り込まれた内線には、割り込まれる直前に割り込み予告音が聞こえます。
- 割り込むことができない電話機もあります。お客様社内の通信機器管理担当部門、またはお買い上げいただいた販売店にご相談下さい。
- 話中呼ボタンはフリーアサインボタンへの登録が必要です。登録は、お客様社内の通信機器管理担当部門、またはお買い上げいただいた販売店にご相談下さい。

電話帳に登録するには

よく利用する電話番号を電話帳に登録しておくと、少ないボタン操作で目的の電話番号を簡単に呼び出すことができ便利です。登録件数は最大 50 件です。(51A では本機能はご利用になれません)

📞 お知らせ

- 電話帳は、ハンドセットを置いた状態、または上げた（スピーカ受話含む）状態のどちらでも操作できます。尚、小容量 PBX ではハンドセットを上げた状態で電話帳を操作できない機種もあります。詳細は、お客様社内の通信機器管理担当部門、またはお買い上げいただいた販売店にご相談下さい。
ハンドセットを置いた状態：登録・発信・修正・削除・表示を操作可能
ハンドセットを上げた状態：登録・修正・削除・表示を操作可能
- 電話帳モード中に電話帳関連以外のボタンを押すと、電話帳モードは解除されます。ご注意ください。
- 電話帳モード中に着信があった場合は、ハンドセットを上げると通話できます。(ハンズフリー付電話機の場合はスピーカボタンを押しても通話できます。) また、相手先番号を確認してから通話する場合には、電話帳モードを解除すると着信画面に切り替わります。(登録 / 修正画面の場合は、電話帳ボタンを 2 回押します。電話帳表示画面の場合は、電話帳ボタンを 1 回押してください。登録中や修正途中の情報は残りません。)

■電話帳に登録する

1 電話帳ボタンを押します。

電話帳モードへ移行します。



2 カナ / 英字ボタンで入力モードを選びます。

保留/カナ/英字



※漢字入力はできません。

- ・カナ入力モード：ディスプレイ上に「カナ」と表示され、カタカナ入力を行うことができます。
- ・英字入力モード：もう 1 回カナ / 英字ボタンを押すと、「AL」と表示され、英字を入力することができます。

- ・数字入力モード：さらにもう 1 回カナ / 英字ボタンを押すと、「No.」と表示され、数字を入力することができます。

カ ナ ナ? ?

—

AL ナ? ?

—

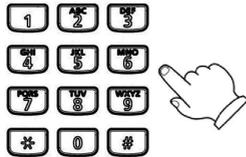
No. ナ? ?

—

4 電話帳機能を利用する

3 ダイヤルボタンで名前を入力します。

- 文字を入力するには (→P46)
文字は 10 文字まで入力できます。
濁点半濁点も 1 文字として表示されます。
名前を入力しない場合は、そのまま手順 4 へ進みます。



か ナマ?
ス*主

4 登録ボタンを押します。



5 ダイヤルボタンで電話番号（局線の場合は、局線発信特番と電話番号）を入力します。

- 数字は左下から順に表示されます。
最大 30 桁まで入力できます。31 桁目からは表示されません。

TEL No.?
00312345678_

6 登録ボタンを押します。

- 電話帳 1 件目が登録されました。
続けて 2 件目以降を登録する場合には、カナ / 英字ボタンで入力モードを選び、手順 3 から手順 6 の操作を繰り返します。
・「カナ ナマエ?」が表示されているときに電話帳ボタンを 2 回押すと、電話帳モードが解除されます。

トウク カリヨウ ノコリ xx

xx : 残り登録可能数

か ナマ?
_

お知らせ

- 51 件目を登録しようとする、アラーム音「ピピピ」とともに「アキメモリ ナシ」のメッセージが表示され、電話帳モードが解除されます。
この場合は、不要な電話帳を削除した後、はじめから登録し直してください。

電話帳でかけるには

登録した電話帳を検索機能で呼び出して、電話をかけます。

次の2種類の方法があります。

- ・名前で検索してかける (→下記)
- ・スクロール機能で検索してかける (→P43)

■名前の検索機能で呼び出してかける

1 電話帳ボタンを押します。

電話帳モードへ移行します。



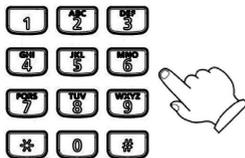
2 カナ / 英字ボタンで入力モードを選びます。



3 ダイヤルボタンで名前を入力します。

名前はフルネームでなくても検索できます。

例：「スズキ」で登録されている電話帳を検索する場合、ダイヤルボタン **3** を3回押します。「ス」が表示されます。



カ ナ?
ス

4 電話帳機能を利用する

4 電話帳ボタンを押します。

検索条件を満たす電話帳を表示します。



・検索条件を満たす電話帳が登録されていない場合には、アラーム音（ビビビ）とともにメッセージが表示され、電話帳モードが解除されます。

00312345678
ススキ

ガイトウ データ ナ

5 ▼ボタンを押して、選択します。

検索された電話帳が順番に表示されます。

・▲ボタンを押すと、逆の順番で表示されます。



2002
ストウ

6 目的の名前（電話番号）が表示されたら、ハンドセットを上げるか、またはスピーカーボタンを押します。

表示された電話番号へダイヤルされます。

2002
ヨビダシ

ワンポイント

- 手順 6 で電話帳からの発信を中止するときは電話帳ボタンを押します。
- 名前入力のない電話帳を検索する場合はスクロール機能で検索してください。（→ P43）

電話帳を修正するには

1 修正する電話帳を表示させます。

名前の検索 (→ P41)、スクロール機能の検索 (→ P43) のいずれかの検索方法で、修正する電話帳を表示させます。

00312345678
ｽｽﾞｷ

2 カナ / 英字ボタンで入力モードを選びます。



カナ ナマエ?
ｽｽﾞｷ

3 (<) ボタンまたは (>) ボタンを押して、修正する文字にカーソルを合わせます。



4 ダイヤルボタンで修正する文字を入力します。

・不要な文字を削除する場合は、削除する文字の1つ右にカーソルを移動させ、クリアボタンを押すと文字が1文字消えます。また、クリアボタンを約2秒押し続けるとすべての文字が消えます。

5 登録ボタンを押します。

・名前の修正が終わったら登録ボタンを押します。名前を修正しない場合にはそのまま登録ボタンを押します。

6 ダイヤルボタンで正しい電話番号を入力します。

・クリアボタンを押して訂正する電話番号を消去します。
・クリアボタンを約2秒押し続けると、すべての数字が消去されます。

TEL. No.?
00312345678_

7 登録ボタンを押します。

・電話番号の入力が終わったら登録ボタンを押します。電話番号を修正しない場合にはそのまま登録ボタンを押します。
・「カナ ナマエ?」が表示されているときに電話帳ボタンを2回押しすと、電話帳モードが解除されます。

ﾄﾞﾚｯｸﾞ ｶﾞﾘｰﾖｯｸ / ﾈｺﾘ xx

xx : 残り登録可能数

カナ ナマエ?

-

4 電話帳機能を利用する

電話帳を削除するには

不要な電話帳を削除するときの操作です。

1 削除する電話帳を表示させます。

名前の検索（→P41）、スクロール機能の検索（→P43）のいずれかの検索方法で、削除する電話帳を表示させます。

00312345678
スズキ

2 登録ボタンを押します。



3 クリアボタンを押します。

表示されたデータを削除するかどうかのメッセージが表示されます。



小容量 PBX



中大容量 PBX

データ삭제? YES-1/NO-0

4 削除する場合は **1** を押します。

削除したことをお知らせします。

삭제? 카리요



ワンポイント

- 削除を中止するときは
手順4で **0** を押します。

文字を入力するには

ダイヤルボタンで入力できる文字は、ボタンを押すごとに下記の表のように変わります。
 例：「ウ」を入力するには、「カナ」入力モードにして **1** を3回押します。
 「B」を入力するには、「英字」入力モードにして **2** を2回押します。

電話帳で使用する各ボタンの割り当て文字

ボタン	モード	カタカナ	英 字	数 字
1		-ア-イ-ウ-エ-オ-ア-イ-ウ-エ-オ-		1
ABC 2		-カ-キ-ク-ケ-コ-	-A-B-C-a-b-c-	2
DEF 3		-サ-シ-ス-セ-ソ-	-D-E-F-d-e-f-	3
GHI 4		-タ-チ-ツ-テ-ト-ッ-	-G-H-I-g-h-i-	4
JKL 5		-ナ-ニ-ヌ-ネ-ノ-	-J-K-L-j-k-l-	5
MNO 6		-ハ-ヒ-フ-ヘ-ホ-	-M-N-O-m-n-o-	6
PQRS 7		-マ-ミ-ム-メ-モ-	-P-Q-R-S-p-q-r-s-	7
TUV 8		-ヤ-ユ-ヨ-ャ-ュ-ョ-	-T-U-V-t-u-v-	8
XYZW 9		-ラ-リ-ル-レ-ロ-	-W-X-Y-Z-w-x-y-z-	9
0		-ワ-ヲ-ン-°-°- - - - - ? - ! - □ -	- , - ` - - - - : - & - / - (-) - ¥ - # - * - □ -	0
*		← (カーソルが左へ移動します)		
#		→ (カーソルが右へ移動します)		
電話帳 		電子電話帳モード設定 / 解除		
カナ / 英字 		文字入力モード変換 (カナ、英字)		
登録 		電子電話帳データの登録決定		
クリア 		一度押し (2秒未満) : カーソルの左の文字を1文字削除します 2秒以上連続して押す : 入力文字を全削除します		

□ : 空白を示します

4 電話帳機能を利用する

名前を登録する

名前を入力例（「スズキ」と入力する場合）

1 電話帳ボタンを押します。

2 カナ/英字ボタンを押して、カナ入力モードにします。



カナ ナマ?
-

3 **DEF 3** を3回押します。

「ス」が表示されます。

カナ ナマ?
ス_

4 **#** ボタンを押します。



- ・続けて同じボタン上の文字を入力するときには、このボタンでカーソルを一つ右に移動させてください。
- ・次に入力する文字が、違うボタン上にあるときは、そのボタンを押すとカーソルは自動的に右へ移動します。

カナ ナマ?
ス_

5 **DEF 3** を3回押します。

カナ ナマ?
スス_

6 **0** を4回押します。

カナ ナマ?
スス_

7 **ABC 2** を2回押します。

カナ ナマ?
ススき

8 名前が入力が終わったら登録ボタンを押します。



TEL. No. ?
-

名前が登録されました。
続いて電話番号を入力します。(→P40)

発着信履歴機能について

■仕様

- 本機能は、下記 PBX が対象となります。また、PBX 本体ソフトのバージョンによりご使用できない場合があります。お問い合わせになった販売店へお問い合わせください。

※対象となる PBX

- 小容量 PBX : IP Pathfinder RM10S GSM シリーズ、IP Pathfinder S
- 中大容量 PBX : LEGEND-V、IP Pathfinder 全機種 (IP Pathfinder S、RM10S GSM シリーズは除く)

【小容量 PBX の仕様】

- 発着信履歴件数は、発信履歴：8 件、着信履歴：8 件 (PBX 本体サービスを使用) です。履歴情報が登録件数以上となった場合は、履歴情報の古い情報から削除されます。
- 発着信履歴の操作は、受話器を置いた状態でのみ操作ができます。(オンフックのみ)
- 既に履歴情報として登録されている履歴情報と同じ番号へ発信、着信したときは、発着信履歴情報は全て上書きされます。
- 電話帳に登録されている情報を発着信時に表示することはできません。
- 通話中に発着信履歴を見ることはできません。

■注意事項

自分の電話機が鳴っているときに、“発信履歴”もしくは“発番号セーブダイヤル”ボタンを押すことにより、発着信履歴が表示されますが、履歴を確認するために UP/DOWN ボタンを押すと、履歴表示内容が変更すると同時に、呼出音の音量も変更されてしまいます。ご注意ください。

【中大容量 PBX の仕様】

- 発着信履歴件数は、発信履歴：10 件、着信履歴：10 件です。履歴情報が登録件数以上となった場合は、履歴情報の古い情報から削除されます。
- 発着信履歴の操作は、受話器を置いた状態でのみ操作ができます。(オンフックのみ) 受話器を上げた状態もしくはスピーカー ON 状態で「履歴」ボタンを押した場合は、1 つ前に発信した相手を呼び出します。(リダイヤル)
- 既に履歴情報として登録されている履歴情報と同じ番号へ発信、着信しても発着信履歴情報は全て履歴情報として登録されます。
- 発着信履歴表示中に履歴検索で使用するボタン以外のボタンを押しても、無効となります。
- 発着信履歴表示中に着信があった場合には、受話器を上げれば通話できます。また、相手番号を確認してから通話したい場合には、発信履歴表示中は「履歴」ボタンを 2 回、着信履歴表示中は「履歴」ボタンを 1 回押して、発着信履歴表示から抜けると着信画面に切り変わります。
- 着信時に相手から番号がない場合 (非通知着信など) は、着信履歴として残りますが、番号は表示されません。
- 電話帳に登録されている情報を発着信時に表示することはできません。
- 通話中に発着信履歴を見ることはできません。

■注意事項

- 電話機コード抜き差しや、フリーアサインボタン設定などにより、電話機が再起動した場合には、発着信履歴の情報は削除されます。ご注意ください。
- 中継発信時の場合は、発着信履歴の情報は残りません。ご注意ください。
- 再呼操作 (リダイヤル) を行う場合には、必ずダイヤルトーン (DT 音) を聞いてから再呼ボタンを押してください。
- 自分の電話機の呼出音が鳴っているときに、受話器を置いた状態で「履歴」ボタンを押すと、再呼動作 (リダイヤル) となります。なお、呼出音が鳴っていないときに、受話器を置いた状態で「履歴」ボタンを押すと、発信履歴画面が表示されます。

小容量 PBX での発信履歴操作について

本体サービス【発信履歴】機能を使用します。

- 発信履歴としてセーブできるのは内線（転送含む）、外線、ワンタッチダイヤルです。発信履歴は自動的にセーブします。
- 発信履歴は電話機 1 台あたり最大 8 件（1 番号あたり最大 15 桁）まで記憶できます。
- 発信履歴にすでに 8 件登録されている場合は、最も古い番号が消去されます。
- 発信履歴に同一番号が記憶されている場合は、記憶済みの同一番号は消去されます。
- 発信履歴については、お買い求めの販売店へお問い合わせください。
- 発信履歴が表示されているときに“0” ボタンを押すと、その表示中の発信履歴を消去して次の発信履歴（1 つ前に記憶された発信履歴）を表示します。
- 発信履歴表示中に着信があった場合には、受話器を上げても応答することができます。応答する場合には、必ず「発信履歴」ボタンを押してから受話器を上げてください。

■発信履歴操作方法

1 「発信履歴」ボタンを押します。

発信履歴検索画面になり、発信した電話番号が表示されます。
「発信履歴」ボタンのランプが赤で点灯します。

発信履歴



2 ▲ボタンまたは▼ボタンを押します。

目的の電話番号が表示されるまでボタンを押してください。



0312345678

3 目的の電話番号が表示されたら、ハンドセットを上げるか、またはスピーカーボタンを押します。

表示された電話番号へダイヤルされます。
「発信履歴」ボタンのランプが消灯します。



ワンポイント

- 手順 3 で発信履歴からの発信を中止するときはハンドセットを戻すかスピーカーボタンを押します。



お知らせ

- 発信履歴ボタンはフリーアサインボタンへの登録が必要です。登録は、お客様社内の通信機器管理担当部門、またはお買い上げいただいた販売店にご相談下さい。

小容量 PBX での着信履歴操作について

本体サービス【発番号セーブダイヤル】機能を使用します。

- 手動セーブ：着信履歴を残す為には、着信通話中に発番号セーブ / 表示ボタンを押す必要があります。ボタンを押さないと着信履歴は残りません。また内線着信は着信履歴に残りません。(各電話機の初期状態は、手動セーブになっています)
- 自動セーブ：着信時、自動的に着信履歴を残します。
 - 1：局線着信のみ着信履歴を残す
 - 2：専用線着信のみ着信履歴を残す
 - 3：局線と専用線の着信履歴を残すの3種類があります。内線着信は着信履歴に残りません。
- 手動セーブ / 自動セーブ 状態を切替えるには：手動 / 自動セーブ切替特番 (※) をダイヤルし、その後0～3のいずれかをダイヤルします。
 - 0：手動セーブ
 - 1：局線着信のみ自動セーブ
 - 2：専用線着信のみ自動セーブ
 - 3：局線着信と専用線着信を自動セーブ
- 着信時、液晶ディスプレイに相手の番号が表示した場合だけ、着信履歴を残す事ができます。番号表示していない場合は着信履歴を残せません。
- 着信履歴は電話機1台あたり最大8件(1番号あたり最大15桁)まで記憶できます。
- 自動セーブは各種局線着信方式で実施できます。(ダイレクトインライン、ダイレクトライン、フローティングライン、ダイヤルイン、ISDNダイヤルイン、付加番号ダイヤルイン、発番号ダイヤルイン)。ただし、ダイレクトラインとフローティングラインの場合は、着信に応答した時に自動セーブされます。
- 着信履歴が表示されているときに“0”ボタンを押すと、その表示中の着信履歴を消去して次の着信履歴(1つ前に記憶された着信履歴)を表示します。
- 着信履歴表示中に着信があった場合には、受話器を上げても応答することができません。応答する場合には、必ず「発番号セーブ / 表示」ボタンを押してから受話器を上げてください。

お知らせ

- 発番号セーブ / 表示 ボタンはフリーアサインボタンへの登録が必要です。また手動 / 自動セーブ切替特番 (※) は初期出荷時登録されていません。ボタン登録が必要、または特番がご不明の場合は、お客様社内の通信機器管理担当部門、またはお買い上げいただいた販売店にご相談下さい。

5 発信履歴機能を利用する

■着信履歴操作方法

1 発番号セーブ / 表示ボタンを押します。

着信履歴検索画面になり、着信した電話番号が表示されます。

発番号セーブ / 表示



2 ▲ボタンまたは▼ボタンを押します。

目的の電話番号が表示されるまでボタンを押してください。



0441234567

3 目的の電話番号が表示されたら、ハンドセットを上げるか、またはスピーカーボタンを押します。

表示された電話番号へダイヤルされます。

ワンポイント

- 手順3で着信履歴からの発信を中止するときはハンドセットを戻すかスピーカーボタンを押します。

5 発信履歴機能を利用する

中大容量 PBX で発信履歴を検索するには

1 「履歴」 ボタンを押します。

発信履歴検索画面になり、発信した電話番号と日時が表示されます。



発信履歴がない場合には、“発信履歴データ無し”が表示されます。
続けて、「履歴」ボタンを押下すると着信履歴検索画面が表示されます。
“発信履歴データ無し”の表示状態で約5秒間何もボタンを押さないとカレンダー表示画面へ戻ります。

2 ▲ボタンまたは▼ボタンを押します。

▼ (DOWN) ボタンを押すと2つ前、3つ前というように発信履歴情報がさかのぼって表示されます。▲ (UP) ボタンを押すと逆に新しい発信履歴情報が表示されます。



10件以上のものは、古い情報から削除されます。

発:01: 4/18 2:20 PM
123456

(漢字表示)

ハツ :01: 4/18 2:20 PM
123456

(カナ表示)

発信履歴データ無し

(漢字表示)

ハツシヨリキテータ ナシ

(カナ表示)

発:02: 4/17 8:35 PM

(漢字表示)

ハツ :02: 4/17 8:35 PM

(カナ表示)

(一度▼ボタンを押した場合)

フリーアサインボタンについて

本電話機のフリーアサインボタンは、下表の機能ボタンとして使用することができます。各ボタンへの機能割り付けなど詳しくは、お客様社内の通信機器管理担当部門、またはお買い上げいただいた販売店にご相談下さい。本書に記載した機能は参照ページに説明があります。

機 能	概 要	参照ページ
内線	局線で通話中に、内線にかけたり内線に応答するときに使います。	P25、26
局線	局線へかけるとき、局線からの着信に応答するときに使います。	P21、25、27
アラーム	アラームを鳴らす時刻を設定するときに使います。	—
ワンタッチ	ワンタッチで電話をかけるときに使います。	P30、31、32
放送	放送設備やポケットベルを使って呼び出しを行うときに使います。	—
会議	三者通話を行うときに使います。	P37
八者会議	複数の人（最大八者）と通話を行うときに使います。	—
コールホールド	相手を保留し、自分の電話機で一般の発信を行うときに使います。	—
不在転送	自分の電話機への内線着信を他の内線へ転送するときに使います。	P28、29
応答（保留応答）	局線から着信に対応するときに使います。 また、局線表示盤に着信したときの応答に使います。	—
不在	内線からの呼び出しを停止し、相手に不在理由を知らせます。	P61
不在時着信表示	相手の着信表示ランプをつけて用件があることを知らせます。 (相手は着信表示機能のある電話機に限ります)	—
ピックアップ	同じグループ内のほかの電話機への着信に応答するときに使います。	P25
他グループピックアップ (Gピックアップ)	他のグループへの着信に応答するときに使います。	—
待合せ	相手内線が話し中のとき、相手が空きたい自動的に空いたことを知らせます。また、局線 / 専用線が全て話し中のときにも使います。	P36
コールパーク	通話中の相手を保留番号を指定して保留し、どの内線からも保留に応答するときに使います。	—
話中呼	通話中に割り込み、三者通話するときに使います。	P38
表示	データ、音声、プログラムの各モードの表示に使います。	—
PB 切替	回転ダイヤルの回線を使用中にプッシュボタン信号を送るときに使います。	—
コールウェイティング	通話中の相手に割り込むときに使います。被割込者の通話相手は保留されています。	—
在 / 不在	ボタンモジュールの在席表示ランプに表示する在 / 不在の状況を登録するときに使います。	—

呼出音の音色を切り替えるとき

《呼出音の音色切り替え方法について》

以下の場合において呼出音の音色が上手く切り替えられない場合があります。

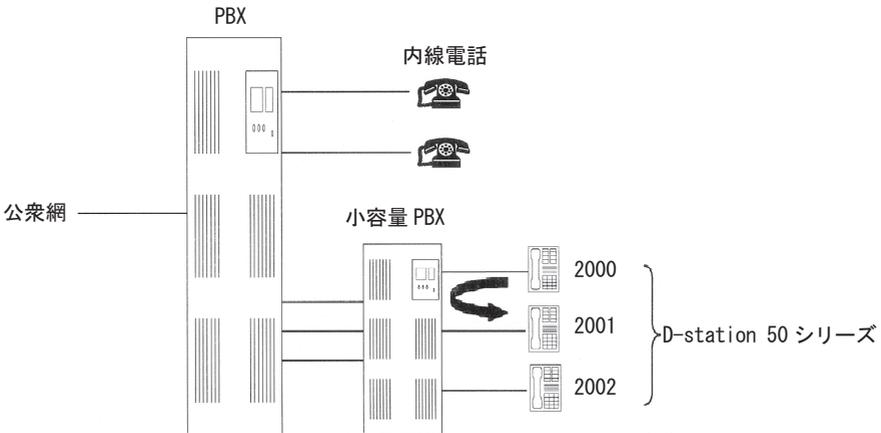
- ・システム構成として下記に示す小容量 PBX*1 用電話機を他 PBX の内線へ接続（セクションマシン使用）する場合

〈呼出音の音色を切り替える場合には〉

小容量 PBX に接続されている D-station 50 シリーズ電話機間（内線相互間：例えば、内線番号 2000 から内線番号 2001 へ発信する。）にて音色を切り替えたい内線に着信させて ♪ ボタン（トーンボタン）を押下し、呼出音の音色切り替え操作をして頂くことをお勧めします。

上記方法以外の着信に対して ♪ ボタンを押下した場合、ディスプレイ表示が電子電話帳の画面(P.39 手順 2 参照)に切り替わることがありますが、再度 ♪ ボタンを押すことによりディスプレイ表示は元に戻ります。誤動作ではありませんのでご注意ください。

- *1: 小容量 PBX ～ ES200 シリーズ ISS 全機種、CS100、CM50、
IP Pathfinder RM10S GSM シリーズ、IP Pathfinder S



※システム構成が分からない場合には、お買い上げ頂いた販売店にお問い合わせください。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、修理を依頼される前に次の点をご確認ください。

こんなときは	原因	確認してください
ボタンのランプが消えない	(局線ランプ、内線ランプなど) ハンドセットが外れている	ハンドセットを正しい位置に置いてください
	(局線ランプ、転送ランプなど) 自分または、他の人が保留したままになっている	ハンドセットを上げ、ボタンを押して使用中かどうか確認してください
	(待ち合わせ、不在転送など) 登録を解除していない	各種ボタンごとの解除方法で登録を解除してください
電話機から変な音が出ている	ハンドセットが外れている	ハンドセットを正しい位置に置いてください
ボタンを押してもランプがつかない	ランプがつかないボタンを押した	ワンタッチ、短縮などの機能ボタンはランプがつかみません
ハンドセットを上げても発信音が聞こえない、または、通話中に相手の声が聞こえなくなった	電話機やハンドセットのコードが外れている	外れている場合は、いったんハンドセットを戻し、電話機から電話機コードを抜いて、もう一度差し直してください
	上記以外	お買い上げになった販売店へご相談ください
再呼ボタンが光ったままで、それを押すと最後に電話した相手ではなく、ある特定の相手にかかる	セーブナンバーダイヤルが登録されている	どこかに電話をかけて頂き、通話中に、点灯している再呼ボタンを押すと解除できます(再呼ボタンは消灯)。セーブナンバーダイヤルは(→P.23)をご覧ください。また、詳細は小容量PBXに添付されている取扱説明書をご覧ください。(尚、中大容量PBXでは、この機能をお使いになれません)

7 ご参考に

こんなときは	原因	確認してください
突然、着信しなくなった	不在登録特番をダイヤルした	<p>小容量 PBX の場合は出荷時、不在登録特番が 114、不在解除特番が 154 に設定されています。154 とダイヤルして不在解除して下さい。ただし不在解除特番が 154 以外の番号にカスタマイズしてある場合はその限りではありません。</p> <p>（尚、中大容量 PBX の場合は出荷時、不在登録特番と不在解除特番は設定されていません。）</p> <p>不在解除特番がご不明の場合は、お買い上げ頂いた販売店にお問い合わせ下さい。</p>

仕様

■ D-station 50 シリーズ

○：機能あり、×：機能なし、OP：オプション

項目	51A	51B	52B	52D	52PA	52PB
小容量 PBX				○		
中大容量 PBX				○		
固定機能ボタン(上下キー含む)	8	8	8 (9)			
フリーアサインボタン数 ※1	12	12	24 (23)			
ディスプレイ表示	×	英数カナ	英数カナ	漢字	漢字	漢字
ハンズフリー機能	×	×	×	○	×	×
録音端子 ※2	×	○				
電子電話帳	×	50 件				
発信履歴 ※3	×	小容量 PBX:8 件 中大容量 PBX:10 件				
着信履歴 ※3	×	小容量 PBX:8 件 中大容量 PBX:10 件				
停電機能 ※4	×			アナログ		INS
ボタンモジュール接続 (大容量のみ) ※5	×	OP	OP	OP	×	×
DSS (小容量のみ)	OP					
高音量ベル	OP					
壁掛け	OP					
電話機コード	2/6MJMJ			4/6MJMJ	6/6MJMJ	
電話機本体カラー	オフホワイト					
ヘッドセット ※6	OP					
寸法	幅 (mm)	180	180			
	奥行 (mm)	230	233			
	高さ (mm)	73.7	77.9			

*許容差 ± 5mm

- ※1 小容量 PBX は 24 ボタン、中大容量 PBX は 23 ボタン (上下切り替えボタン1つ除くため)
- ※2 コネクター形式 φ 3.5mm JIS C 6560-1994 準拠プラグ
出カインピーダンス 600 Ω 以下、ケーブル：ミニプラグ⇄ミニプラグ (抵抗無し)
推奨ケーブル：FC780RJC1 (10 本 / 組、電話機側 L 字タイプ)
- ※3 小容量 PBX は本体側機能で 8 件、中大容量 PBX は電話機側機能で 10 件対応
- ※4 停電時には、“外線へかける・外線に应答する”以外の機能 (ディスプレイ表示・内線通話など) は使用できません。
- ※5 ボタンモジュールの機能としてワンタッチ登録できる組み合わせは、漢字ディスプレイの 52D のみです。
- ※6 D-station 50 シリーズのヘッドセットは FC760A15 のみです。ヘッドセット使用時に受話音量が大きいと感じた場合は、調整ボタン▼で音量を下げてご使用ください。

アフターサービスについて

万一、製品などに不具合が生じた場合は、お買い上げの販売店までお問い合わせください。

1. 修理を依頼されるときは

- 保証期間中
保証書に記載されている当社無料修理規程に基づき修理いたします。
- 保証期間外
修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有料修理いたします。
- ご注意
 - ・メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、必ずお控えください。
なお、メモリの内容などが変化、消失した場合の損害および損失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
 - ・修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

2. 補修用性能部品の保有期間について

当社はこの電話機およびその周辺機器の補修用性能部品を製造打ち切り後約7年間保有しております。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

注 意

本製品は、海外為替及び外国貿易管理法が定める規制貨物に該当します。
本製品は、国内でのご利用を前提としたものでありますので、日本国外へ持ち出す場合は、同法に基づく輸出許可等必要な手続きをお取りください。

NOTICE

This product which is intended for use in Japan, is a controlled product regulated under the Japanese Foreign Exchange and Foreign Trade Control Law. When you plan to export or take this product out of Japan, please obtain a permission, as required by the Law and related regulations, from the Japanese Government.



※製品改良のため仕様やデザインの一部を予告なく変更することがありますのでご了承ください。

2013年11月 T101-1946-03